

商品コード：215-1432900

適合車種： グロム (JC61) (JC75)
 モンキー125 (JB02)

代表車種を記載しています。最新の適合情報についてはウェブサイトをご参照ください。



当製品単品では使用できません。
 別売りのインジェクションコントローラー(i-Map)および大容量インジェクタを必ず使用してください。
 また、その他の推奨パーツも必ずご確認ください。

推奨エンジンオイル：elf MOTO4 PRO TECH 5W-40 / PANOLIN STREET 4T RACE 10W50

- この度はキタコ製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。取り付ける前に注意事項をお読みいただき、ご理解の上でご使用ください。
- 製品内容を必ずご確認ください。
- ホンダが発行するサービスマニュアルと併せて作業を行ってください。
- このキットの組み付けには特殊工具が必要です。
- 取扱説明書は大切に保管してください。

注意事項 (必ずお読み下さい)



- このパーツは競技用部品であり、保証の対象外となります。
- 組み込まれた車両での一般公道走行はできません。
- 記載されている適合車種以外の車両には使用しないでください。
- 出力アップに伴いノーマル状態からバランスが崩れ、各部の耐久性などが低下する可能性があります。通常よりも頻繁な点検整備が必要になります。
- 出力アップに伴いノーマル車両のような静音性や耐久性は損なわれます。
- 組み付けミスやセッティング不良による事故やパーツの破損については、保証の対象外となります。
- 指示に従って正しく組み付けてください。記載以外の改造は破損や故障の原因となりますので、絶対に行わないでください。
- 本製品の使用によって生じた付随的な損害、間接的な損害、および逸失利益などについては、一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周辺部品の役割などが理解できない場合は、必ず専門店の担当者または当社にご相談ください。



- 燃料は無鉛プレミアムガソリンを使用してください。高圧縮比のため、レギュラーガソリンではノッキングなどでエンジンが損傷します。
- 車両のコンディションや組み合わせパーツによっては、インジェクションコントローラー (i-Map) のプリセット燃調マップでは対応できない場合があります。その場合は必ず燃調セッティングを行ってください。
- 慣らし運転を必ず行ってください。ただし、慣らし運転中でもセッティング不良の場合はエンジンが損傷する恐れがあります。
- 出力特性が変わるため、状況に応じてオイルクーラーの取り付けやクラッチの強化などの追加作業が必要になります。
- 再使用する部品に損傷や摩耗がある場合は、新品に交換してください。
- 組み付ける部品は、洗浄を行ってください。
- オイルラインに詰まりがないか、エアダスターなどを使用して必ず確認してください。
- 製品にはエッジや突起がありますので、取り扱い時には手袋を着用し、怪我に注意してください。
- 仕様変更などにより、説明書の内容 (イラストや写真) と異なる場合があります。
- 製品は予告なく仕様や価格を変更する場合があります。あらかじめご了承ください。



取扱説明書は専門的な知識を持った方を対象としています。技能や知識がない方、説明書の内容が理解できない方は作業を行わないでください。



十分な換気を行ってください。ガソリンは揮発性が高く身体に有害です。エンジンの始動は換気の良い場所で行ってください。



作業中は引火性の非常に高いガソリンを使用するため、タバコなどの火気は厳禁です。



エンジンが作動中または作動後、シリンダーやクランクケース、マフラーなどが高温になっていますので、不用意に触れないようにしてください。



スパークチェックのために、シリンダー外でプラグをスパークさせる行為は絶対に行わないでください。引火や爆発の危険があります。



お気付きの点や異常を発見した場合は、直ちに走行を停止し、当社までご連絡ください。

製造には万全を期しておりますが、万一当社の製造上の原因による品質不良が生じた場合は、同様の数量の新しい製品と交換、または無償修理をいたします。ただし、それに伴う故障、破損、事故などの損害、およびパーツ代金や整備費用の代償はご容赦ください。

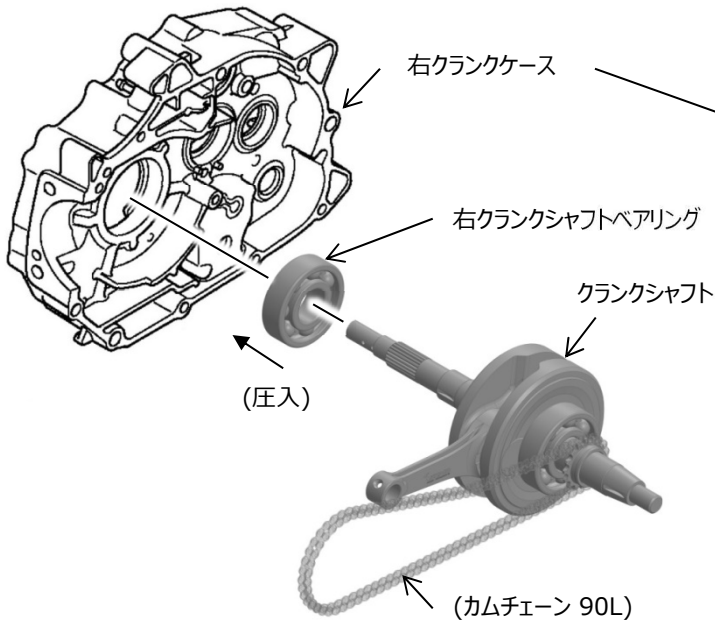
取り付け手順

- エンジンを降ろして作業を行います。そのためには、外装の取り外しやその他の作業が必要です。
- 腰下の分解組み立て作業手順などは、サービスマニュアルに従って行ってください。
- 分解した部品は洗浄してください。
- 取り付けの際は必ずトルクを確認してください。
- イラストは純正とは異なる場合があります。

クランクシャフトの取り付け

- 新品の右クランクシャフトベアリングにオイルを塗布します。
- プレスを使用して、右クランクシャフトベアリングのマークのある面を上にして完全に装着されるまで圧入します。

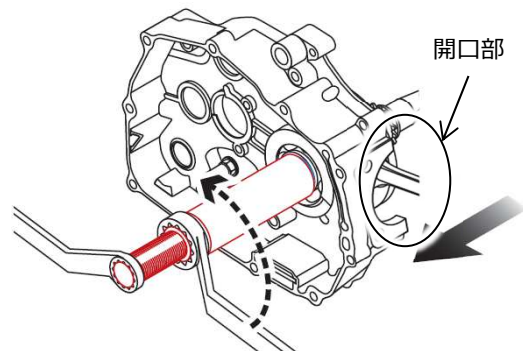
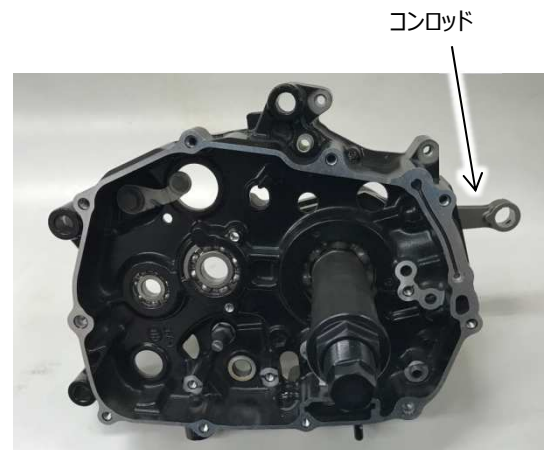
⚠ クランクケースを損傷しないように注意。



- 専用工具を使用して、クランクシャフトを右クランクケースに圧入したベアリングのインナーレースに引き込みます。

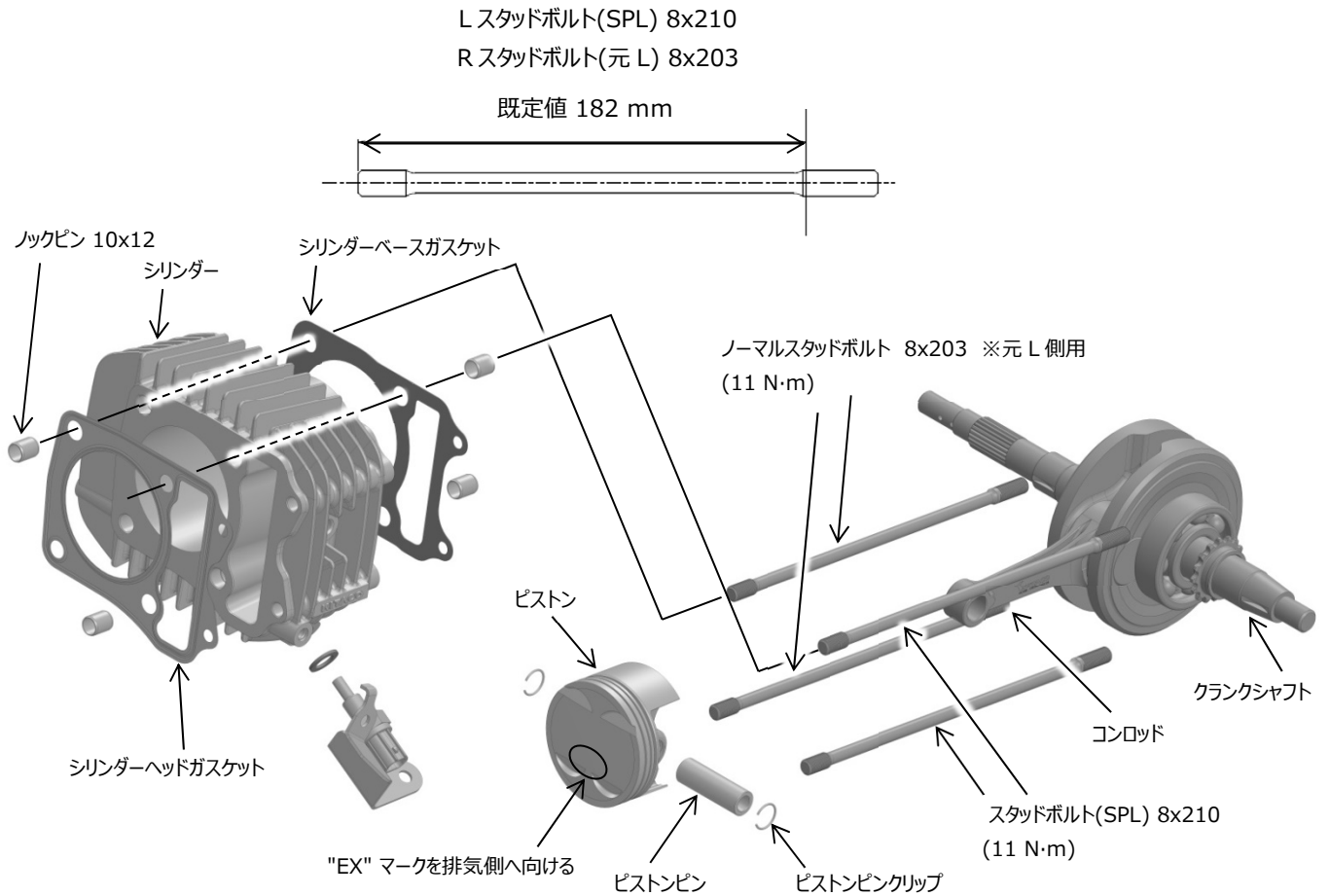
⚠ コンロッドがクランクケース開口部にあることを確認。

特殊工具：クランクシャフトアセンブリツール
商品コード：674-1432700



スタッドボルト/カムチェーンの交換

- ダブルナットでスタッドボルトを外します。純正スタッドボルト 8x196 は使用しません。
- スタッドボルト(SPL)8x210 を左側、純正スタッドボルト 8x203 を右側クランクケースに取り付け、締め付けます。
- スタッドボルト取り付け後、ボルトの頭部からクランクケース面までの長さが規定内であることを確認してください。
- カムチェーンを付属品の 90L に交換します。※ノーマルカムチェーンは 88L



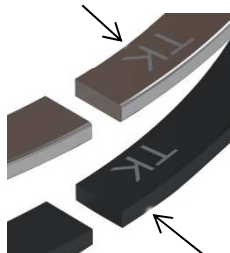
ピストンの取り付け

- リングおよびリング溝にエンジンオイルを塗布してください。
- リング溝をよく清掃し、ピストンリングを取り付けます。
- ピストンピンクリップを溝に正しくセットしてください。

ピストンリングの刻印を上にしてピストンリングの溝に慎重に取り付けます。
トップリングとセカンドリングを混同しないでください。

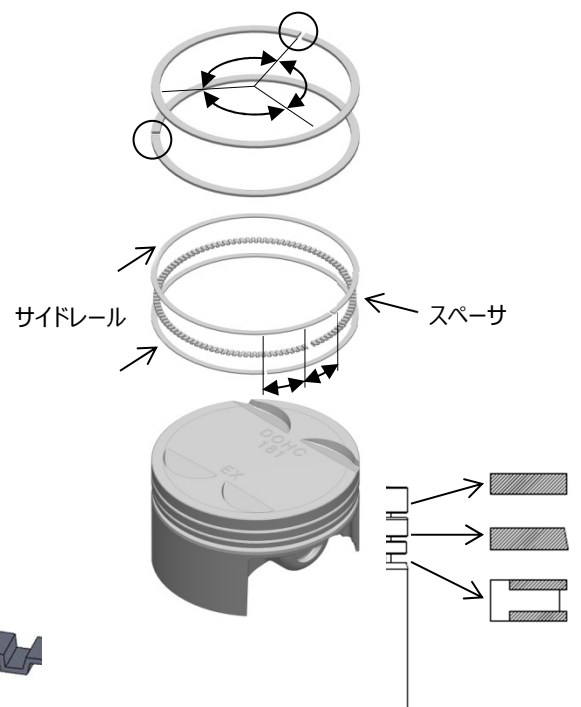
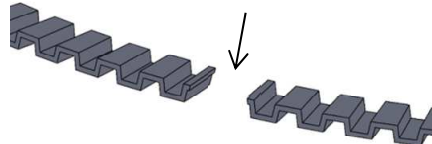
- ⚠️ ピストンリングの端のギャップを互い違いに 120° 離して配置します。
図のように、サイドレールの端のギャップをずらして配置します。
スペーサは合口が上方方向に配置します。

トップリング (グレー/シルバー)



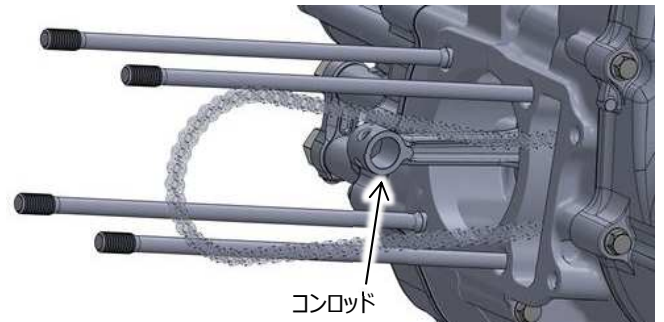
セカンドリング (ブラック)

スペーサ (合口)

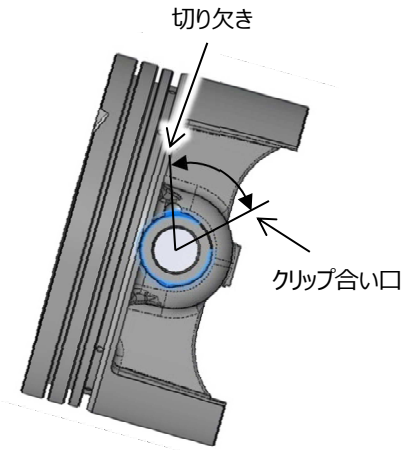


ピストンの取り付け

- コンロッド小端穴にエンジンオイルを塗布してください。
- ピストンピンにエンジンオイルを塗布します。
- ピストンは「EX」マークが排気側になるように取り付けてください。



- ピストンピンクリップを溝に正しくセットしてください。
- クリップの合い口隙間とピストンの切り欠きの位置を合わせないでください。



ピストンピンクリップは常に新品を使用してください。

- ⚠ 使用済みのピストンピンクリップを再度取り付けると、エンジンに深刻な損傷が生じる可能性があります。

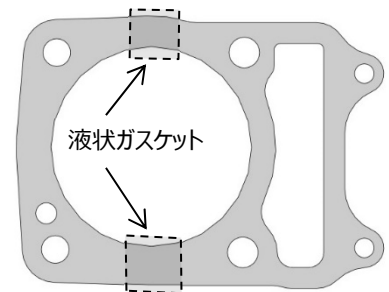
シリンダーの取り付け

- カムシャフトやロッカーアームの潤滑油はシリンダー内のオイルラインを通して供給されます。シリンダーを取り付ける前にオイルラインを洗浄してください。
- 図のように、クランクケースの斜線部分に液状ガスケットを塗布します。

シリンダー壁やピストンを傷つけないように注意してください。

合わせ面を傷つけないように注意してください。

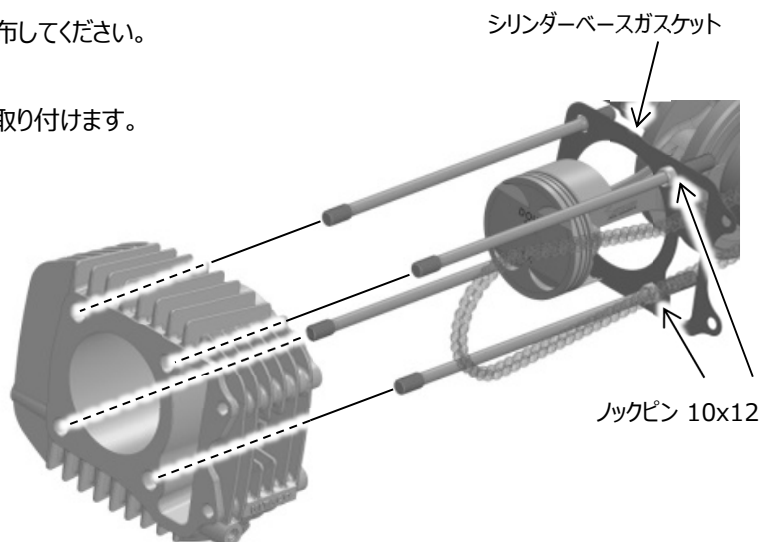
- ⚠ 取り付け時のピストンリングの損傷を避けてください。
- カムチェーンがクランクケース内に落ちないように注意してください。



- ヌックピン 10x12 とシリンダーベースガスケットを取り付けます。
- シリンダーおよびピストン摺動面にエンジンオイルを塗布してください。
- ピストンリングにエンジンオイルを塗布します。
- ピストンリングを指で押しながらシリンダーをピストンに取り付けます。

- ⚠ ヌックピンに損傷がある場合は新品と交換すること。

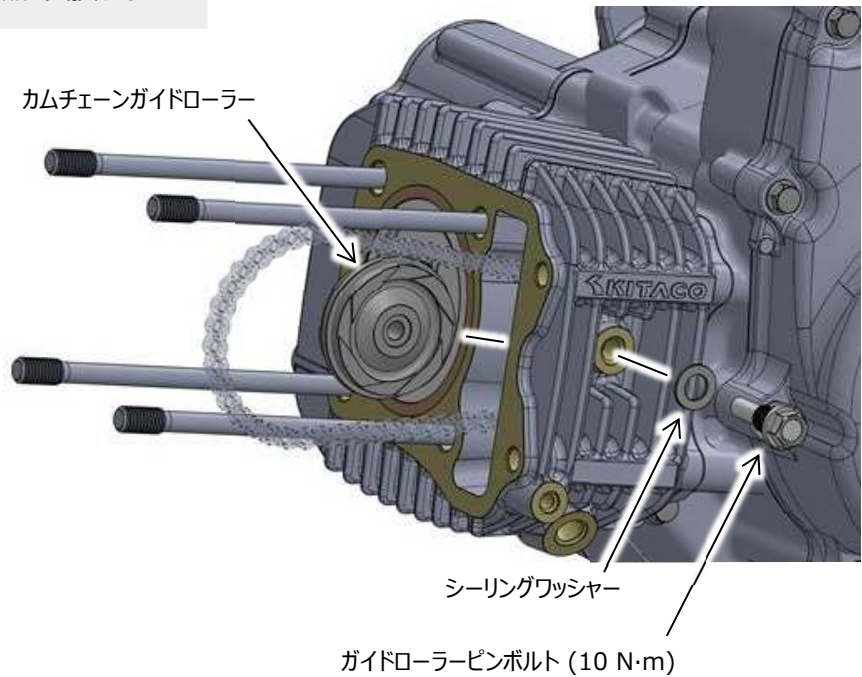
品名： ヌックピン SET
商品コード： 989-1432000



シリンダーの取り付け

- カムチェーンガイドローラー、新品のシーリングワッシャー、カムチェーンガイドローラーピンボルトを取り付けます。
- ローラーピンボルトを規定トルクで締め付けます。

⚠ ガイドローラーに損傷がある場合は新品と交換すること。

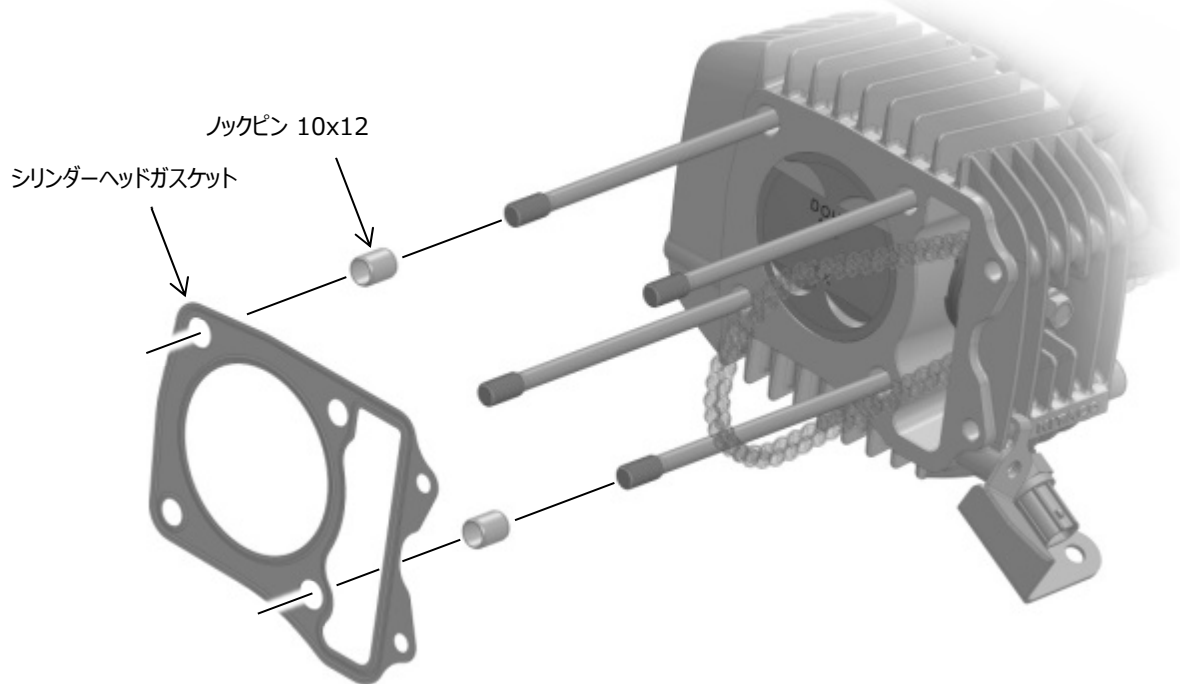


品名： シーリングワッシャー
商品コード： 70-090-14321



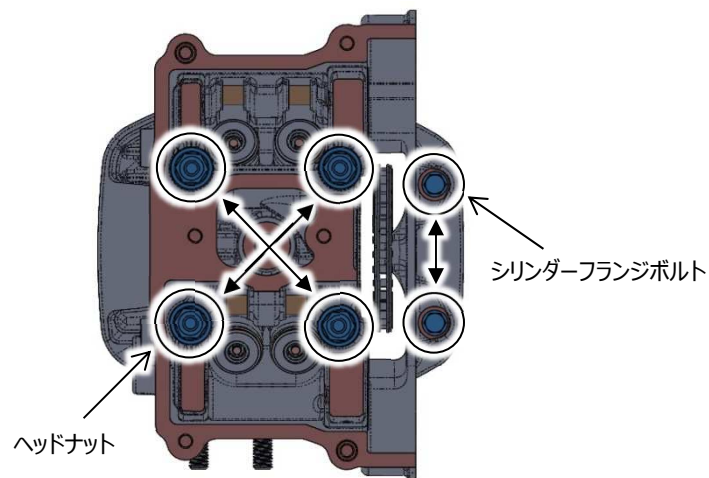
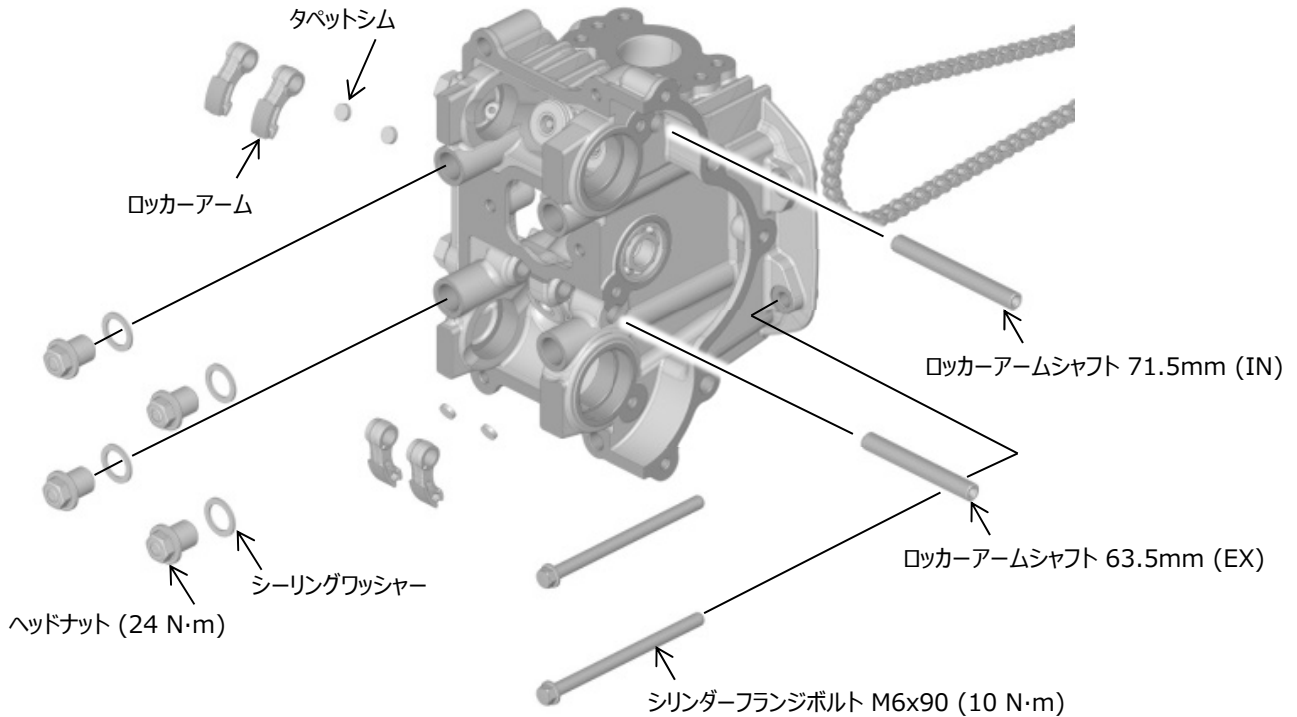
- ノックピン 10x12 とシリンダーヘッドガasketをシリンダーに取り付けます。

⚠ ノックピンに損傷がある場合は新品と交換すること。



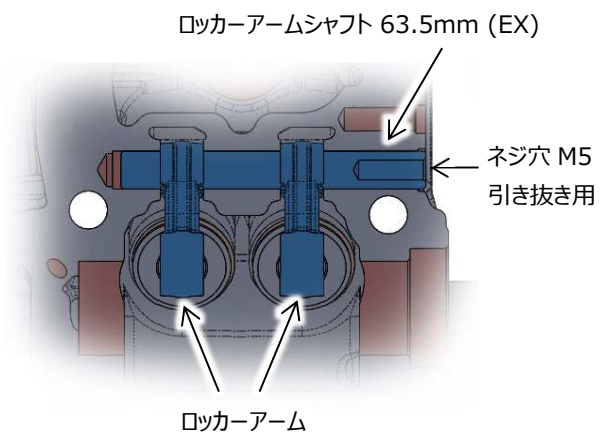
シリンダーヘッドの取り付け

- カムチェーンをシリンダーヘッド内に通し、シリンダーヘッドをシリンダーに取り付けます。
- ヘッドナットのネジ部にエンジンオイルを塗布してください。
- ワッシャーを取り付け、ヘッドナットを対角線上に 2~3 回に分けて規定トルクで締め付けます。
- 次にシリンダーフランジボルトを締め付けます。



- ロッカーアームシャフト摺動面にエンジンオイルを塗布してください。
- シリンダーヘッドにロッカーアームを取り付けます。

⚠ シムがクランクケース内に落ちないように注意してください。



シリンダーヘッド/カムシャフト

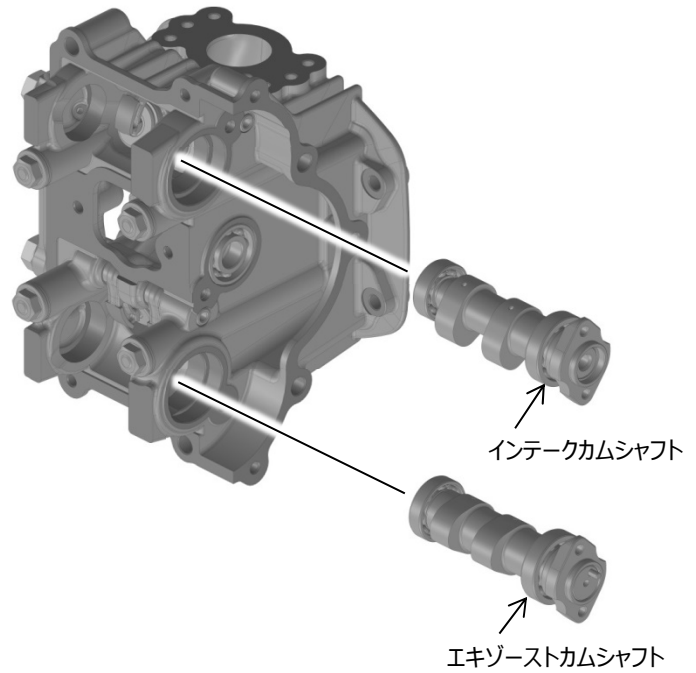
- カムシャフトをシリンダーヘッドに取り付けます。
- カムシャフトベアリングにエンジンオイルを塗布してください。

各カムシャフトには識別マークが付いています。

「IN」マーク：インテークカムシャフト

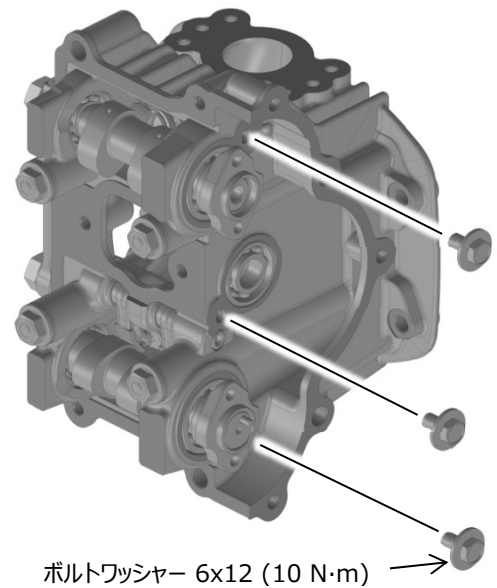
「EX」マーク：エキゾーストカムシャフト

カムシャフトのロブを上に向けて取り付けます。



- ボルトワッシャーを取り付け、規定のトルクで締め付けます。

⚠ ボルトがシリンダーヘッドの開口部に落ちないように注意してください。



シリンダーヘッド/バルブクリアランス

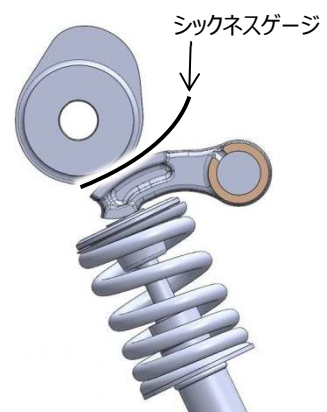
- ロッカーアームとカム之间にシクネスゲージを挿入してバルブクリアランスを確認します。

⚠ バルブクリアランスの点検と調整は、エンジンが冷えている状態（35°C 以下）で行ってください。

バルブクリアランス:

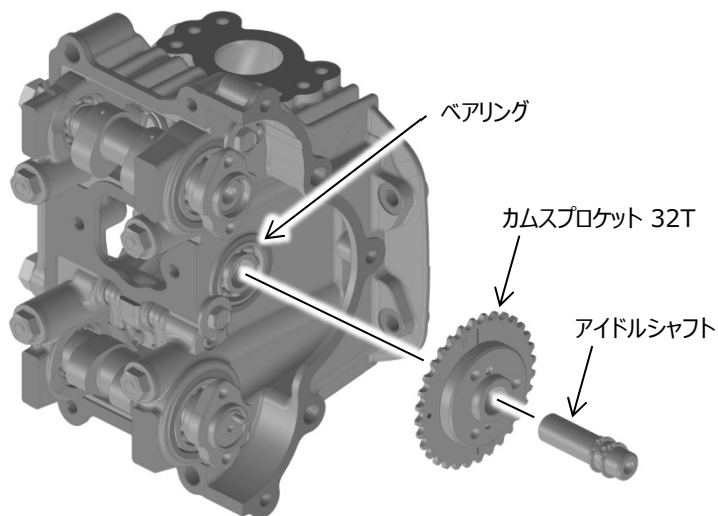
IN : 0.16 ± 0.03 mm

EX : 0.27 ± 0.03 mm



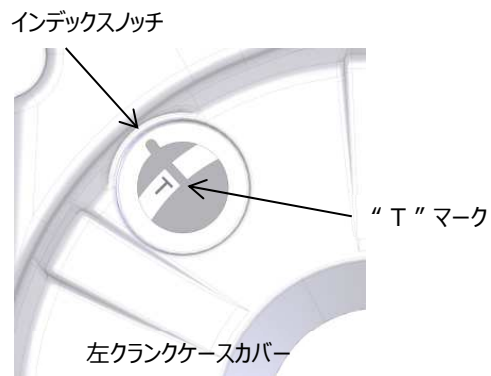
シリンダーヘッド/タイミングギヤ

- アイドルシャフト表面およびベアリングにエンジンオイルを塗布してください。



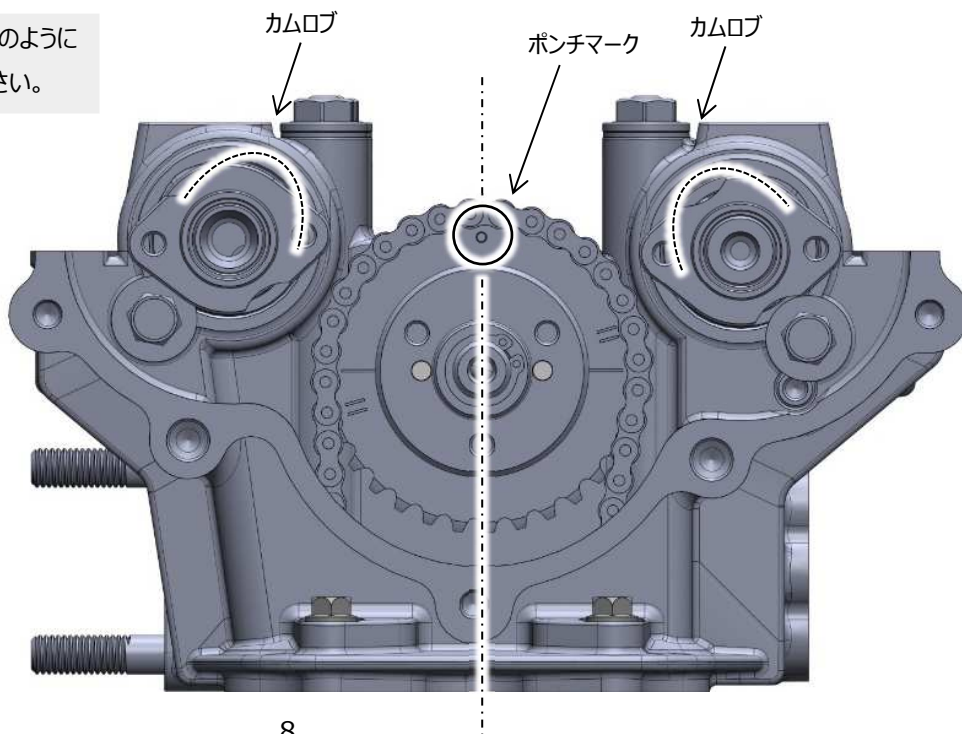
- クランクシャフトを反時計回りに回転させ、フライホイールの「T」マークを左クランクケースカバーのインデックスノッチに合わせます。

⚠ クランクシャフトを回転させる際、カムチェーンやタイミングスプロケットがクランクシャフトに噛み込まないように注意してください。



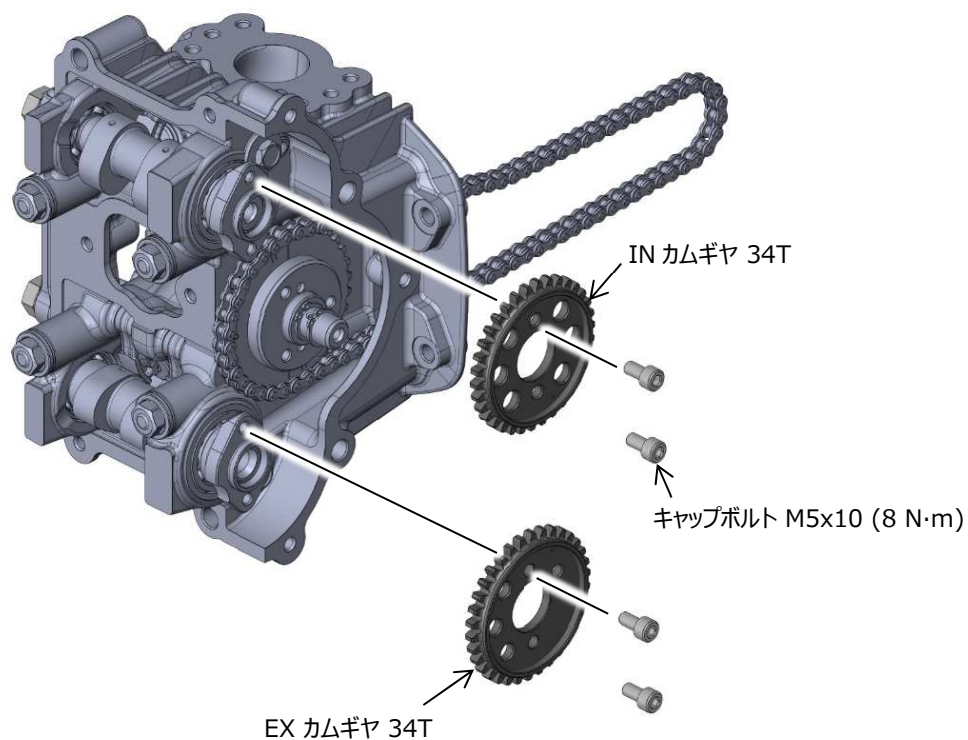
- カムスプロケット 32T にカムチェーンをセットします。
- カムチェーンとカムスプロケットの歯にエンジンオイルを塗布してください。

⚠ カムスプロケットのポンチマークが図のように上を向いていることを確認してください。

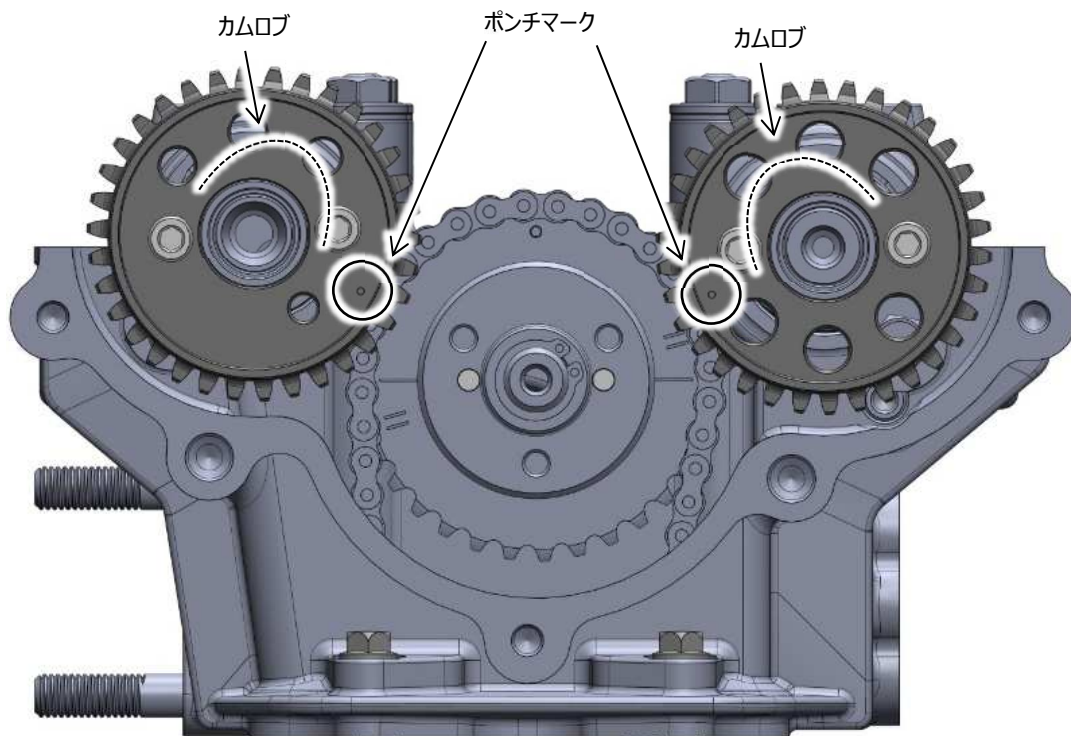


シリンダーヘッド/タイミングギヤ

- カムギヤ 34T をカムシャフトに取り付けます。

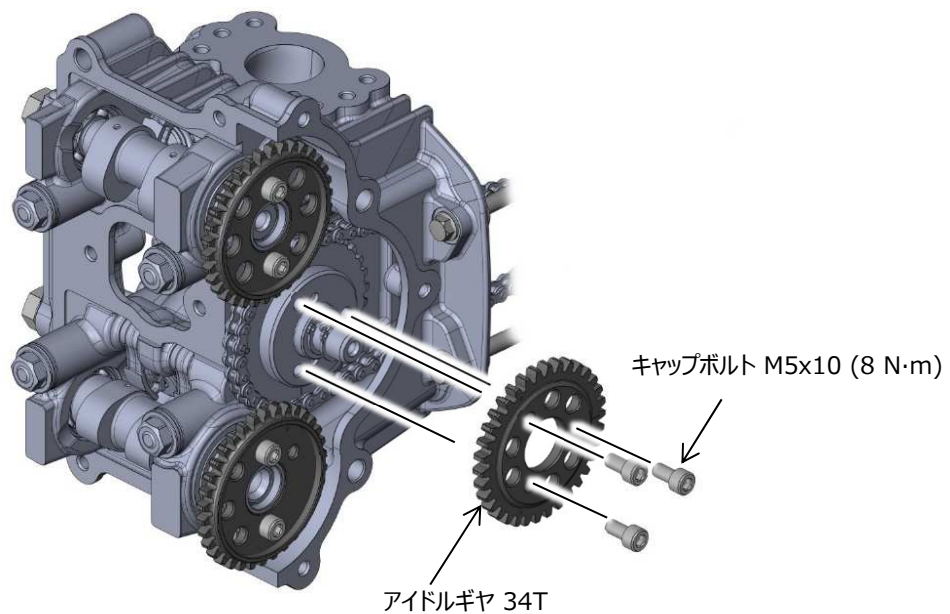


- カムギヤをカムシャフトにポンチマークを合わせて取り付けます。
- カムギヤソケットボルトを取り付け、規定トルクで締め付けます。

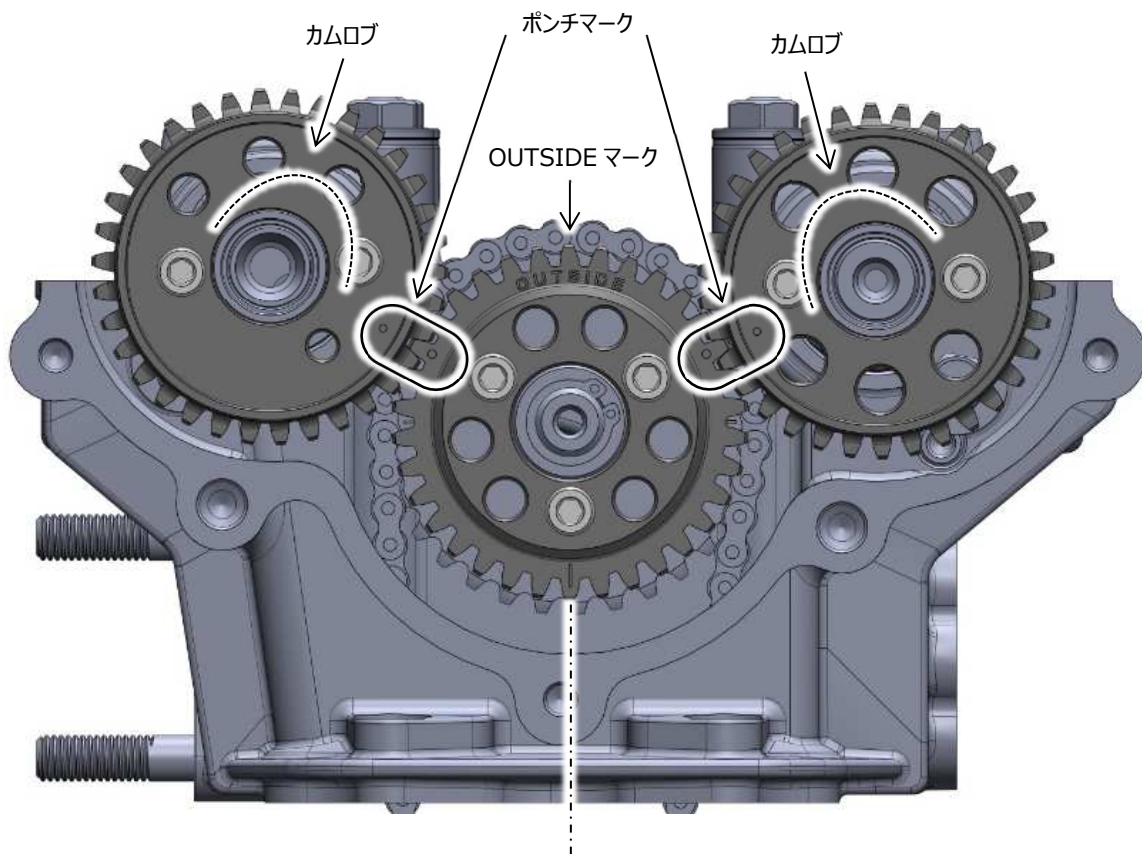


シリンダーヘッド/タイミングギヤ

- カムプロケット 32T にアイドルギヤ 34T を取り付けます。
- アイドルギヤは「OUTSIDE」マークを外側に向けて取り付けてください。



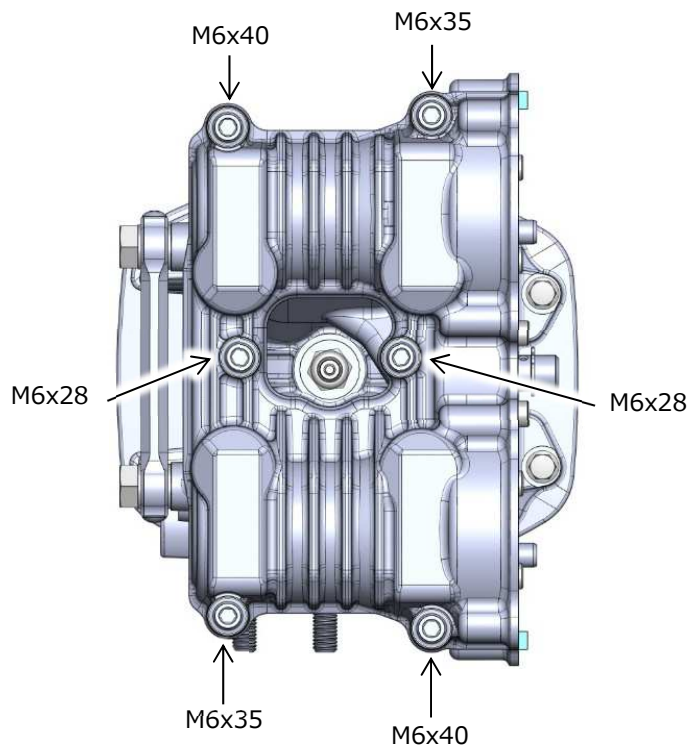
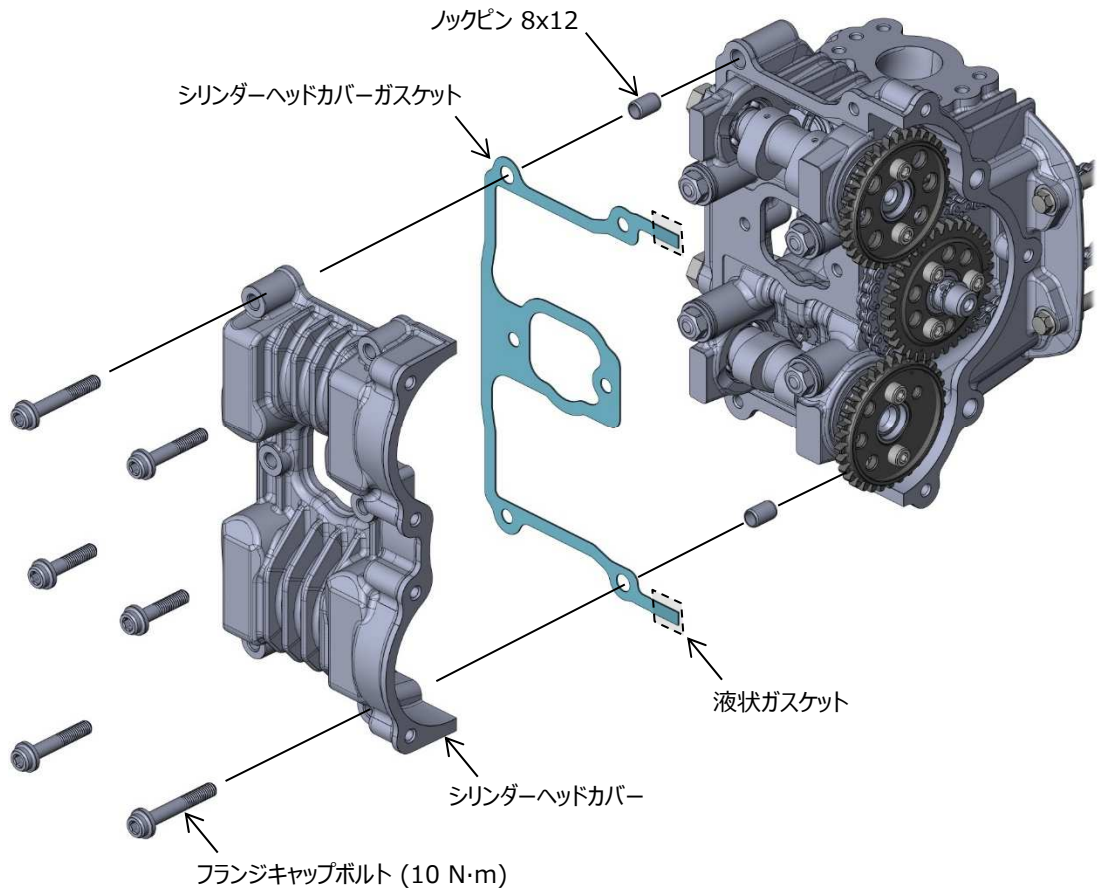
- 図のようにカムギヤの内側のポンチマークとアイドルギヤのポンチマークを合わせます。



シリンダーヘッド/ヘッドカバー

- 図のようにシリンダーヘッドカバーガスケットに液状ガスケットを塗布します。
- シリンダーヘッドカバーとボルトを取り付けます。
- ボルトは対角線上に 2~3 回に分けて締めてください。

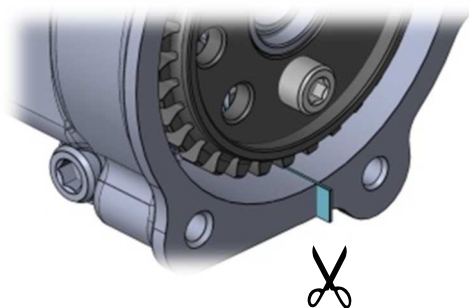
⚠ ガスケットが所定の位置に留まっていることを確認してください。



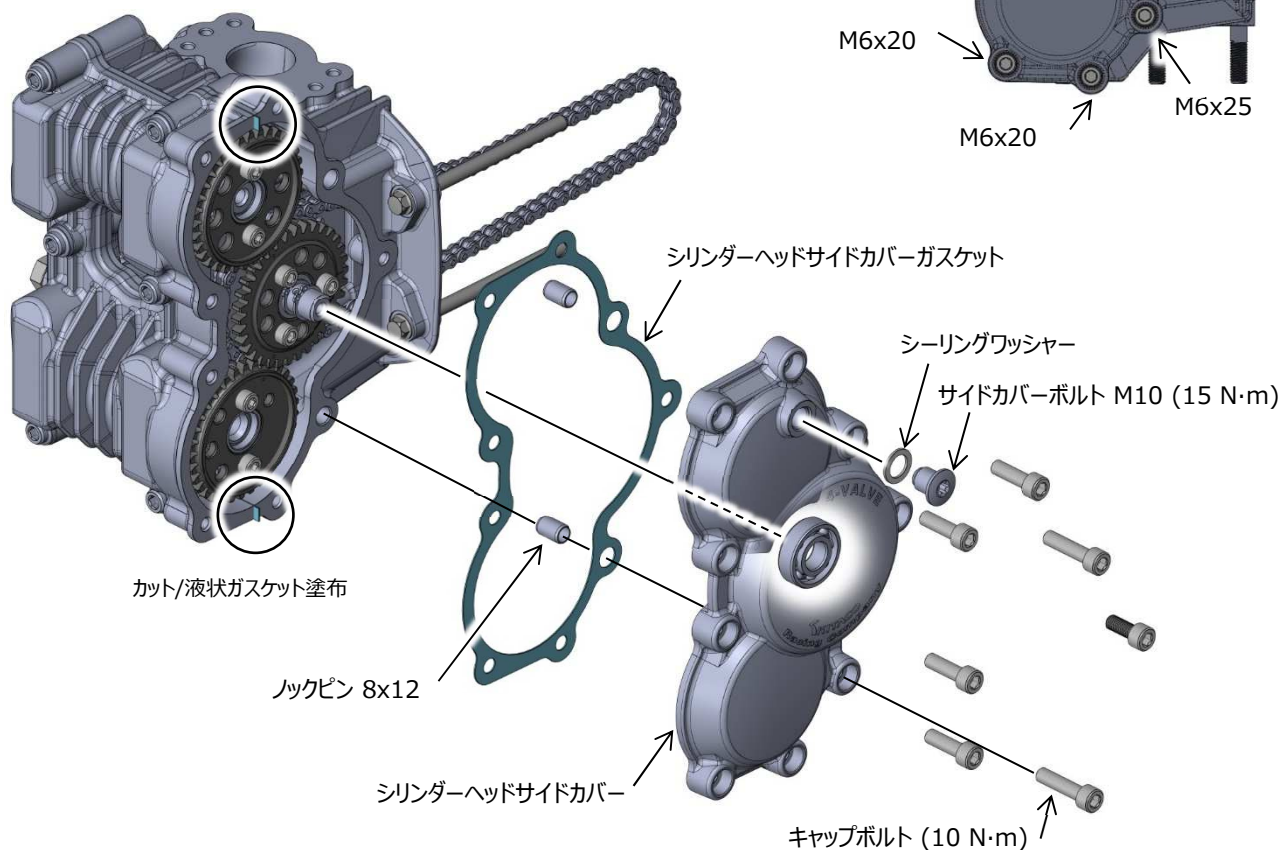
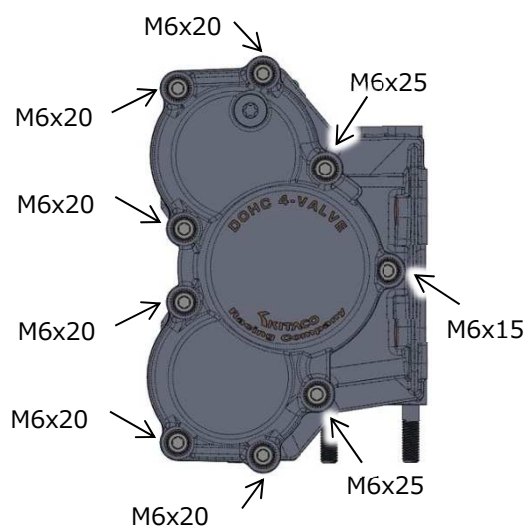
シリンダーヘッド/ヘッドカバー

- はみ出たガasketを図のようにカットします。
- 図のようにシリンダーヘッドに液状ガasketを塗布します。

⚠ カットしたガasketが取り付け面より凹まないように注意。

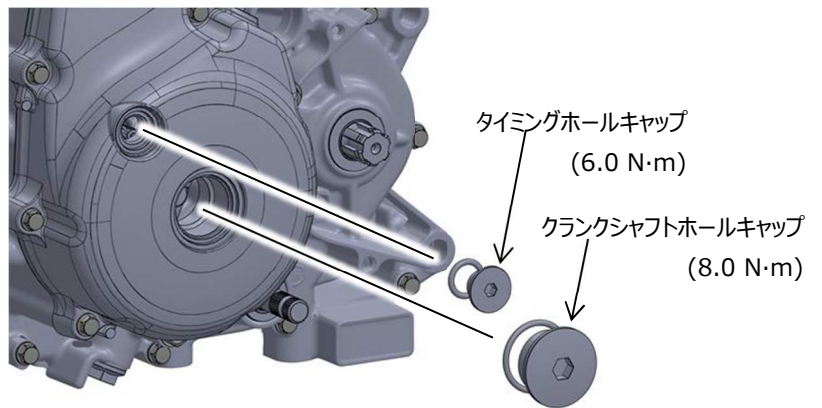


- ギヤ表面やベアリングにエンジンオイルを塗布してください。
- シリンダーヘッドサイドカバーとボルトを取り付けます。
- ボルトは対角線上に2~3回に分けて締めてください。



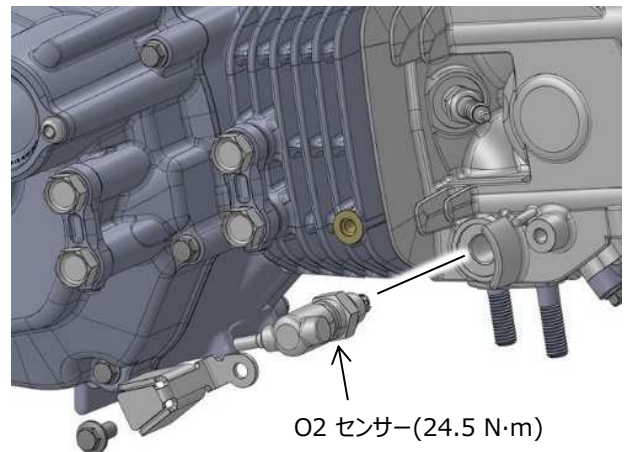
キャップの取り付け

- Oリングにエンジンオイルを塗布し、キャップに取り付けます。
クランクシャフトホールキャップとタイミングホールキャップを取り付け、規定トルクで締め付けます。

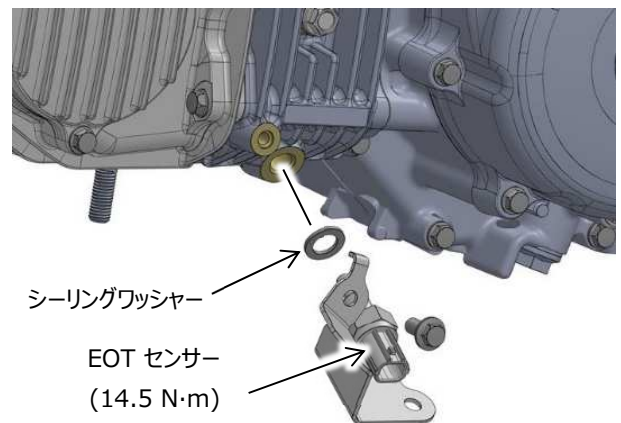


センサーの取り付け

- O2センサーをシリンダーヘッドに取り付けます。
規定トルクで締め付けます。



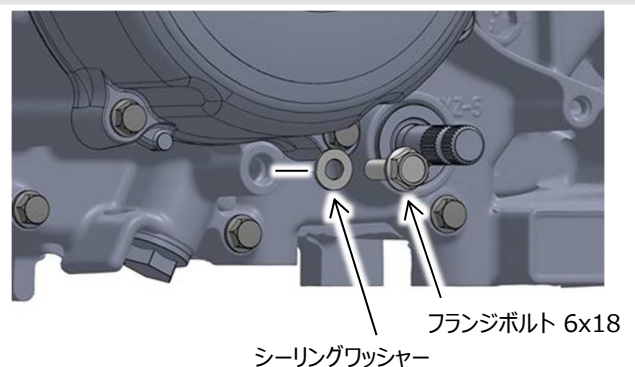
- EOTセンサーのネジ部と座面にエンジンオイルを塗布し、新しいシーリングワッシャーとEOTセンサーを取り付けます。
規定トルクで締め付けます。



カムチェーンテンショナー

- プッシュロッドにエンジンオイルを最低 4.0cc 注入します。
新しいシーリングワッシャーとボルトを取り付けて締め付けます。

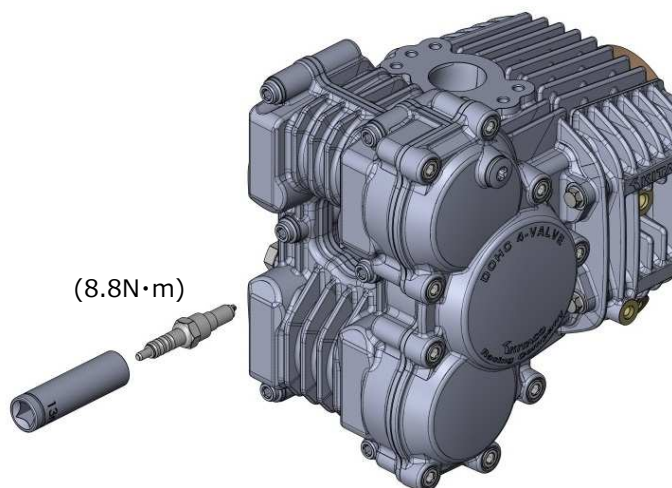
⚠ 必ずカムチェーンの張りを確認すること。
プッシュロッドのワンウェイバルブが機能しているか確認すること。



点火プラグ

- 点火プラグをシリンダーヘッドに取り付けて手で締め、次に規定のトルクで点火プラグを締めます。

⚠ シリンダーヘッドの損傷を防ぐため、レンチを使用して規定のトルクで締め付ける前に、まず手で締めてください。



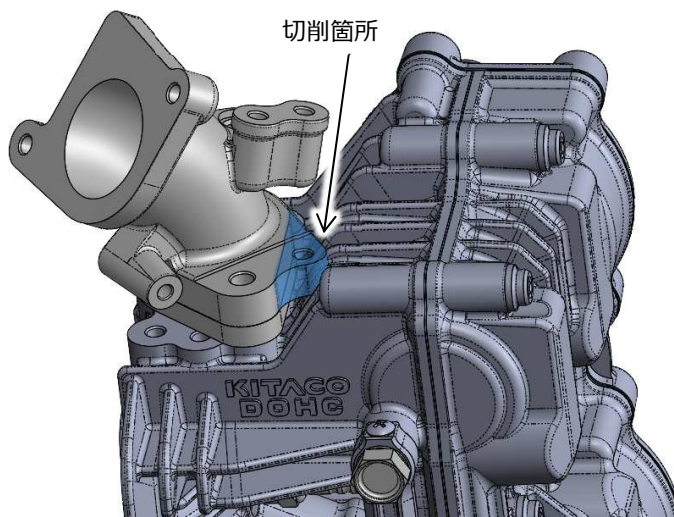
プラグキャップ交換/コード延長

- 付属のケーブルジョイントとプラグコードを使用して長さを延長してください。
- 付属のプラグコードが長すぎる場合は、適切な長さにカットしてください。
- プラグキャップは純正品ではなく付属品をご使用ください。



マニホールドの加工

- 他社製品などでマニホールドが図のようなタイプの場合、シリンダーヘッドと干渉します。その場合はマニホールド切削加工が必要です。



シリンダーヘッド展開図

シールの損傷を避けるため、バルブを挿入する際はゆっくりと回転させてください。

⚠ 取り付けを容易にするためにコッターにグリースを塗布します。

張力の低下を防ぐため、バルブスプリングを必要以上に圧縮しないでください。

